

# コバノヒルムシロ

Potamogeton cristatus Regel et Maack

## ヒルムシロ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

### 選定理由

もともと石川県ではごく稀産の種類であるが、近年さらに減少している。(現況:R-)

### 形態

茎は細く、浮水葉のほかに沈水葉がある。ホソナミズヒキモときわめて類似しているが、本種は果実の嘴(花柱)が長く、果実の背面に「とさか」状の不規則な突起が発達する点で異なる。他の形質では区別困難。穂状花序を着け、花序そのものの長さは6~15mm。

### 国内分布

西日本を中心に本州、四国、九州に分布。

### 県内分布

従来南加賀区のみから知られていたが、加賀中央区から報告された。

### 生態など

浮葉性多年草。秋に葉腋に越冬芽を形成、2箇の開出する刺状の葉がある。水底に沈んで冬を越し、翌春発芽する。開花期は5~9月。

### 生育環境

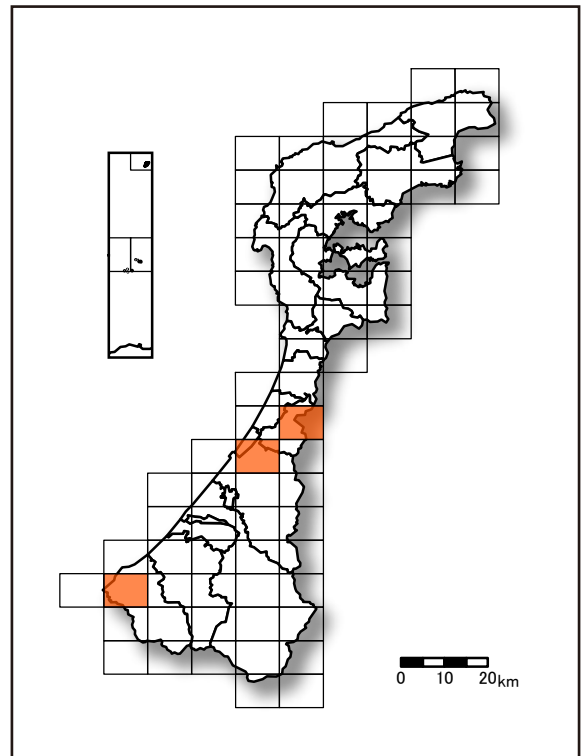
溜池などに極めて稀に生育。

### 危険要因

池沼開発など。



白井伸和・2005年9月18日・津幡町



県内の分布